

5. 前回評価及び第三者評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら、施設の公開、ホールの貸出し、コンサートなど継続して実施している。

6. 評価の観点

(20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり)
(13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った

(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	事業計画書・報告書等の作成・提出をはじめ必要な手続きを適切に行うとともに、必要な事項について区と協議しながら、適正な管理体制のもと運営が行われた。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
20 / 20 点	日本歌曲コンクールでは、作曲部門と歌唱部門を有客で開催し、後日、Youtubeで動画を公開を行った。また、入館者及びホール利用は前年度より増加しており、ホール内の入場制限等、感染症等の状況に応じて施設の公開及びホール貸し出しを行っている。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	建物内外の見回りを行い、ホール等施設設備の衛生管理の徹底や危険個所の把握に努めている。また施設設備の不具合等について、区に対し迅速かつ適切に連絡し、対応した。
(4) サービス向上の取り組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取り組みが積極的に行われているかを評価する。
17 / 20 点	コンサート動画の配信等のコロナ禍に対応した情報発信、Webアンケートの導入やSNS検索による来館者の声を集める工夫を行った。今後も、引き続き利用者サービスを向上していく必要がある。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
18 / 20 点	感染対策の実施により、公演の中止や客席数を減らして開催するなどの対応が必要になった。冷暖房の温度管理や節電など、経費縮減が見られたが、引き続き、管理経費支出の縮減等を工夫する必要がある。
(6) 優れた取り組み 《加点項目》 ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
— 点	

7. 総合評価 極めて良好 (110~101) ・ 良好 (100~91) ・ 適正 (90~70) ・ 改善指示 (69以下)

良好 (95 / 110点)	【所見】 十分な感染症対策を実施しつつ、学芸員によるパイプオルガンとチェンバロ体験講座も再開するなど、利用者の満足度向上につながる体験型イベントも再開した。	【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】 感染症対策を実施しながら、事業展開が必要であった。順調に利用者数が増加する中、今後も継続して利用者満足度向上につながる取組が必要である。